

研究成果報告書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB	北関東における雷神社の分布に関する気象学的特徴の調査研究				
研究テーマ (欧文) AZ	Meteorological surveillance study about the distribution of the Shrine that is related to thunder in Northern Kanto region				
研究氏 代 表 名 者	カナ CC	姓)ゴトウ	名)エツコ	研究期間 B	2014～ 2016年
	漢字 CB	後藤	恵津子	報告年度 YR	2016年
	ローマ字 CZ	GOTO	Etsuko	研究機関名	
研究代表者 CD 所属機関・職名					
概要 EA (600字～800字程度にまとめてください。)	<p>昔から雷は私たちにとって身近なものであり、生活と深く関係している。雷を冠する神社（以下、雷神社）はそれを実感させるものの一つである。一般に雷神社は雨乞い祈願と雷除け祈願を目的とする神社に大別される。ここでは祈願目的を考慮した雷神社の分布から過去の気候が再現できるか否かを検討するために、文献や地図から調べた雷神社の分布と現在の落雷や降水量の分布を比較した。神社庁の資料や文献から祈願目的を確認し、資料のない雷神社については神職や地域住民へのインタビューをもとに祈願目的を推定した。</p> <p>その結果、北関東4県で176社の雷神社が確認できた。埼玉48社、群馬25社、栃木76社、茨城27社であった。これら雷神社を所在地における現在の落雷頻度および降水量から多雷少雨、多雷多雨、少雷少雨、少雷多雨の4つの区分に分けたところ、多雷少雨55.1%、多雷多雨14.2%、少雷少雨30.7%、少雷多雨0%であった。</p> <p>雷神社は祈願別に雨乞い45社、雷除け31社、両方16社、その他2社、不明82社に分類でき、雨乞いの98%が多雷少雨および少雷少雨の区分に、雷除けの87%が多雷少雨および多雷多雨の区分に分布していた。したがって、多雷少雨および少雷少雨、つまり”少雨”の地域では昔から雨が少なく五穀豊穡のために降水を強く願ったものと推察される。また、多雷少雨および多雷多雨の”多雷”の地域では雷の災いから身を守りたいという住民の切実な願いを現していると考えられるため、これらの地域では昔から落雷が多かったと推察される。</p> <p>以上のことから、祈願目的を考慮した雷神社の分布が、現在の落雷や降水量分布と矛盾しないことが示され、創建当時の落雷・降水分布は現在のそれらと大きく異なるものではないと推察される。これは、祈願目的を考慮した雷神社の分布から、過去の気候を再現できる可能性を示唆している。</p> <p>本研究を進めるにあたり、できる限り現地調査を行った。雷の神社はその集落を見下ろす山頂など高所に祀られていることが多く、気象を操る雷様により近い場所で祈願したいという昔の人々の気持ちを推測することができた。また、地域住民に話を伺い「かつては雨乞いをしたことがある」「この場所はよく雷が落ちるので雷電神社を祀ったと先祖から聞いている」など、資料にはなくても雷の神社の祈願理由を知ることができた。そのような話を知っている住民は高齢であることが多い。また、住民が減少し、東北地方太平洋沖地震で倒壊して維持が困難な神社も見られた。今回のタイミングでこのような調査を行えたことはとても有意義であったと思う。</p>				
キーワード FA	雷神社	落雷	降水量	北関東	

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA								
研究機関番号 AC					シート番号								

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	

欧文概要 EZ

Some of Japanese shrines are prayed for the weather. The shrines which's name included Chinese character “雷(it means thunder and lightning)” are prayed for much rain or not to struck by thunder. The aim of this study is to compare the area of shrine and current weather data. We found out those shrines from documents and maps, and We classified it according to prayer, and made a distribution map. And We compared that distribution map with current thunder frequency and the precipitation.

We found out 176 Shrines that is related to thunder in four prefectures of Northern Kanto region. We classified the region in four types based on thunder frequency and precipitation: “much thunder and little rain (ML)”, “much thunder and much rain (MM)”, “little thunder and little rain (LL)” and “little thunder and much rain (LM)”. Then 55.1% shrines were in “ML”, 14.2% shrines were in “MM”, 30.7% shrines were in “LL” and there was no shrines in “LM”. And We classified these shrines in different of prayer. “Pray for rain (R)” is 45 shrines, “pray for not to struck by thunder (T)” is 31 shrines, “both (B)” is 16 shrines, “other (O)” is 2 shrines and “unspecified (U)” is 82 shrines. 98% of shrines to “R” were distributed over the division of “ML” and “LL”, then 87% of shrines to “T” were distributed over the division of “ML” and “MM”.

These results suggest that the weather in old days had similar characteristics of current weather.